

講義名	物流政策論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	森 隆行		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 2時限	授業形態	
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメント / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング / 2014年度 サービス産業学部		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
物流は経済と社会生活にとって欠かすことのできない社会インフラである。経済のグローバル化に伴い、企業や物流を取り巻く環境は大きく変わりつつある。また、先進企業は物流を積極的にその戦略に気字見込んでいる。このように物流は企業戦略として、重要性がますます大きくなっている。本講義では、前半では、日本及び諸外国の物流政策を学ぶ。後半では、流通業を中心とした企業戦略との関係で物流と物流政策を学ぶ。

到達目標
日本の物流政策とその動向について理解する。流通業における企業戦略としての物流の意味と役割を理解する。具体的に、流通業において物流がどのように生かされているかを事例の中で理解する。

提出課題
講義の中で提示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
講義の中でフィードバックする

評価の基準
講義2-3回に1度の割合で小テストを実施する。小テストの合計点で成績を評価する。期末試験は行わないので、小テストを必ず提出のこと。小テストは講義の中で案内するので講義内容に注意すること。

履修にあたっての注意・助言他
物流に関わる産業とその動向から日本と世界の経済動向を知ってもらいたい。日頃からニュースなどに注意を払うよう心がける。また、国際物流論、物流産業論など他の物流関連の講義も受講してほしい。

教科書
.特に定めなし。

プリント資料及び参考文献
講義資料として配布する。

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1 物流政策論で学ぶこと 2 物流の基礎 3 日本の物流政策とその動向 4 物流とそれに関連する各種法律 5 産業別にみた物流政策 6 環境と物流政策 7 国際物流への取り組み 8 海外主要地域・国の物流政策 9 企業と物流 10 物流とマーケティング 11 流通業における物流政策 12 流通と物流(事例研究) 13 流通と物流(事例研究) 14 流通と物流(事例研究) 15 まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
その日の講義の復習として講義内容をまとめる（各凡そ2.5時間）。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考